

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年9月9日
【会社名】	株式会社クレオ
【英訳名】	CREO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 阿南 祐治
【本店の所在の場所】	東京都港区芝5丁目13番18号
【電話番号】	03(6866)0330(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員財経管理室長 雨田 高志
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝5丁目13番18号
【電話番号】	03(6866)0330(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員財経管理室長 雨田 高志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、平成28年8月30日開催の取締役会において、平成29年4月1日を効力発生日としたうえで、当社を存続会社として、当社の100%子会社である株式会社クレオソリューション及び株式会社クレオマーケティング、株式会社クレオネットワークス並びに、株式会社クレオソリューションの100%子会社である株式会社クレオサンライズ及びイアス株式会社の5社を吸収合併することを決議しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号及び第7号の3の規定に基づき、臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

Ⅰ.特定子会社の異動に関する事項

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第3号の規定に基づく報告）

（1）当該異動に係る特定子会社の名称、住所、代表者の氏名、資本金の額及び事業の内容

名称	株式会社クレオソリューション	株式会社クレオマーケティング
住所	東京都港区芝五丁目13番18号	東京都港区港南四丁目1番8号
代表者の指名	代表取締役社長 柿崎 淳一	代表取締役社長 大屋 守弘
資本金の額	100百万円	100百万円
事業の内容	システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発	ZeeM製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供

（2）当該異動の前後における当社の所有に係る当該特定子会社の議決権の数及び当該特定子会社の総株主等の議決権に対する割合

		株式会社クレオソリューション	株式会社クレオマーケティング
議決権の数	異動前	2,000個	2,000個
	異動後	-	-
総株主等の議決権に対する割合	異動前	100%	100%
	異動後	-	-

（3）当該異動の理由及びその年月日

異動の理由 当社が、当社の特定子会社である株式会社クレオソリューション、株式会社クレオマーケティングを吸収合併することにより、同2社が消滅することになります。

異動の年月日 平成29年4月1日（予定）

Ⅱ.吸収合併に関する事項

（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第7号の3の規定に基づく報告）

イ.当該吸収合併の相手会社についての事項（純資産の額及び総資産の額は平成28年3月期）

合併相手会社

（1）商号	株式会社クレオソリューション
（2）本店の所在地	東京都港区芝五丁目13番18号
（3）代表者の氏名	代表取締役社長 柿崎 淳一
（4）資本金の額	100百万円
（5）純資産の額	447百万円
（6）総資産の額	1,524百万円
（7）事業の内容	システムやネットワークの構築から、各種業務アプリケーションの開発

(8) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益	平成26年 3 月期 (単体)	平成27年 3 月期 (単体)	平成28年 3 月期 (単体)
売上高 (百万円)	3,628	3,891	3,741
営業利益 (百万円)	201	207	217
経常利益 (百万円)	195	206	225
当期純利益 (百万円)	81	141	143
(9) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合	株式会社クレオ100%		
(10) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	人的関係	取引関係
	当社が全株式を保有	当社の役員1名が同社代表取締役社長として兼務	当社との間で委嘱契約、業務委託契約、出向契約及び金銭消費貸借契約書等の取引があります。

合併相手会社

(1) 商号	株式会社クレオマーケティング		
(2) 本店の所在地	東京都港区港南四丁目1番8号		
(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 大屋 守弘		
(4) 資本金の額	100百万円		
(5) 純資産の額	180百万円		
(6) 総資産の額	1,229百万円		
(7) 事業の内容	ZeeM製品等の基幹系・情報系業務ソリューションから、組み込み系ソフトウェアまで、トータルICTソリューションの開発・提供		
(8) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益	平成26年 3 月期 (単体)	平成27年 3 月期 (単体)	平成28年 3 月期 (単体)
売上高 (百万円)	2,619	2,481	2,708
営業利益又は営業損失 () (百万円)	37	24	45
経常利益又は経常損失 () (百万円)	45	21	41
当期純利益又は当期純損失 () (百万円)	204	16	13
(9) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合	株式会社クレオ100%		
(10) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	人的関係	取引関係
	当社が全株式を保有	-	当社との間で委嘱契約、業務委託契約、出向契約及び金銭消費貸借契約書等の取引があります。

合併相手会社

(1) 商号	株式会社クレオネットワークス
(2) 本店の所在地	東京都港区港南四丁目1番8号

(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 宮島 利光		
(4) 資本金の額	100百万円		
(5) 純資産の額	153百万円		
(6) 総資産の額	362百万円		
(7) 事業の内容	ICT基盤サービスプラットフォームの提供とBPMツールの開発・販売		
(8) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益	平成26年 3 月期 (単体)	平成27年 3 月期 (単体)	平成28年 3 月期 (単体)
売上高 (百万円)	796	728	680
営業利益 (百万円)	5	3	50
経常利益 (百万円)	2	0	45
当期純利益又は当期純損失 () (百万円)	1	32	51
(9) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合	株式会社クレオ100%		
(10) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	人的関係	取引関係
	当社が全株式を保有	-	当社との間で委嘱契約、業務委託契約、出向契約及び金銭消費貸借契約書等の取引があります。

合併相手会社

(1) 商号	株式会社クレオサンライズ		
(2) 本店の所在地	東京都港区芝五丁目13番18号		
(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 山城 篤		
(4) 資本金の額	10百万円		
(5) 純資産の額	11百万円		
(6) 総資産の額	27百万円		
(7) 事業の内容	熟練者の知識と経験を活かしたサービス展開と新たなサービスの創出		
(8) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益	平成26年 3 月期 (単体)	平成27年 3 月期 (単体)	平成28年 3 月期 (単体)
売上高 (百万円)	32	78	96
営業利益 (百万円)	1	2	3
経常利益 (百万円)	1	2	3
当期純利益 (百万円)	0	1	1
(9) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合	株式会社クレオソリューション100%		
(10) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	人的関係	取引関係
	当社子会社(株)クレオソリューションが全株式を保有	-	当社との間で金銭消費貸借契約書等の取引があります。

合併相手会社

(1) 商号	イアス株式会社		
(2) 本店の所在地	東京都千代田区神田錦町二丁目4番		
(3) 代表者の氏名	代表取締役社長 草薨 清幸		
(4) 資本金の額	80百万円		
(5) 純資産の額	76百万円		
(6) 総資産の額	199百万円		
(7) 事業の内容	文書管理システムの開発・販売、システム開発、インフラ構築・保守サービスの提供		
(8) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益	平成26年 3 月期 (単体)	平成27年 3 月期 (単体)	平成28年 3 月期 (単体)
売上高 (百万円)	827	787	538
営業利益又は営業損失 () (百万円)	30	29	57
経常利益又は経常損失 () (百万円)	18	12	81
当期純利益又は当期純損失 () (百万円)	18	12	177
(9) 大株主の名称及び発行済株式の総数に占める大株主の持株数の割合	株式会社クレオソリューション100%		
(1 0) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係	資本関係	人的関係	取引関係
	当社子会社(株)クレオソリューションが全株式を保有	-	当社との間で金銭消費貸借契約書等の取引があります。

ロ.当該吸収合併の目的

当社および子会社を含むクレオグループ全体を対象として、事業再編とそれを行う為に最適な形態への組織再編について検討した結果、クレオグループの中長期的な成長を企図して、既存の事業会社の枠組みを超えた事業の再編と技術力、人材の結集によるクレオグループの成長に加速度を付けることを目的とするため。

ハ.当該吸収合併の方法、吸収合併に係る割当ての内容、その他の吸収合併契約の内容

(1) 吸収合併の方法

当社を存続会社とする吸収合併方式で、当社の100%子会社である株式会社クレオソリューション及び株式会社クレオマーケティング、株式会社クレオネットワークス並びに、株式会社クレオソリューションの100%子会社である株式会社クレオサンライズ及びイアス株式会社は消滅いたします。

(2) 吸収合併に係る割当ての内容、その他の吸収合併契約の内容

当社の100%子会社である株式会社クレオソリューション及び株式会社クレオマーケティング、株式会社クレオネットワークス並びに、株式会社クレオソリューションの100%子会社である株式会社クレオサンライズ及びイアス株式会社は当社の完全子会社である為、合併による新株の発行、資本金の増加及び合併交付金はありません。

ニ.吸収合併に係る割当ての内容の算定根拠

該当事項はありません。

ホ.当該吸収合併の後の吸収合併存続会社となる会社の商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

- (1) 商号：株式会社クレオ
- (2) 本店の所在地：東京都品川区東品川四丁目 1 0 番 2 7 号
- (3) 代表者の氏名：阿南祐治

- (4) 資本金の額：3,149百万円
- (5) 純資産の額：5,165百万円
- (6) 総資産の額：7,091百万円
- (7) 事業の内容：持株会社

以 上